

コーセー

温度応答性のマスカラ素材を開発
ウォータープルーフ効果と
メイクオフ機能を高いレベルで両立

コーセーは、汗や水に強いウォータープルーフ効果と、洗顔時に
お湯で簡単に落とせる機能を高いレベルで両立する新たなマスカラ素材
を日本カーバイド工業と共同開発した。この研究成果は11月16日発売の
「フアシオ パーマネントカールマスカラ ハイブリッド（ボリューム・ロ
ング）」に応用される。

マスカラは、まつ毛
があたりすぎることが課
題だった。

「カーラーさせる効果」
と、その状態を長時間保
つ「カーラー効果」
が重要な基本品質の1つ
として求められている。

このカーラー効果を崩す
要因となる汗や水への耐
性を強めたタイプとして
「ウォータープルーフタ
イプ」のマスカラが知ら
れているが、洗顔時に専
用のリムーバーが必要で
あったり、落とす時にま
つ毛やまつたへの負担感
を高いレベルで併せ持つ

床屋の店長である友
人から、「評価1をつ
けられた」とLINE
で連絡があったのはつ
い先日のことである。
グーグルマップの店舗
検索で出てくるクチコ
ミ評価に最低評価の1
がつき、困っているこ
の内容だった。

さっそく友人店舗を
側の手際も
あったか。友
人は怒りと悲
しみで混ざった表情で
「誰だろう」と何とか
評価した客を特定した
様子であるが、残念
ながら、感想が入り混
じった強いクチコミへ
の対処策を私は持ち合
わせていない。むしろ、

私の
H & B
日記

た言葉をいくつか持つ
てきていたが、友人の
霧囲気に吞まれると、
同時にそれら用意した
言葉も一緒に吞み込む
ことにした。代わりに
「それ以外の評価は高
い」と4点台はすごいこ
ろだ。友人は、安心感や
信用度を高めるため
に、HPに店長やスタ
ッフの顔をアップする
のが主流になったが、
「それは世界を魅し
ていくように。」（菅）

評価1に対して

ぶやきながら帰ってい
った。
店舗側は、安心感や
信用度を高めるため
に、HPに店長やスタ
ッフの顔をアップする
のが主流になったが、
「それは世界を魅し
ていくように。」（菅）

店舗がWebサイトに
顔載せる必要性があ
るのかどうかについて
は以前から疑問に思っ
ている。顔を載せる勇
気・覚悟ほどのメリッ
トを果たして得られる
のかどうかという点
である。例
えば、顔以
外で信頼感
を与えられ
るものとし
て、カット
やセットの技術がわか
る写真がある。昨今話
題のバンクシーの顔は
知らずとも、彼の作品
から感じとれる思想や
価値観といったメッセ
ージ性は世界を魅し
ていくように。」（菅）



部分と、動きに追従す
る柔らかい膜になる部分
を併せ持っており、室温
ではまつ毛を上向きに固
定する硬さと、まばたき
の動きに耐える柔軟性を
有しているためだ。
その構造特性を活か
し、硬い部分と柔らかい
部分の割合・配置を制御
し、温度に応答して柔ら
かさが変化するようにな
すことに成功。ウォ
ータープルーフ効果があ
りながらも、洗顔時にお
湯で簡単に落とせる機能
を見出した。
新素材を配合した開発
品のウォータープルーフ
効果とメイクオフ効果に
ついて検証すべく、ウォ
ータープルーフ効果の検
証として、人工
皮革に開発品を
塗布し、20℃の
水に1分浸した
後、コットンで
こすった。その
結果、化粧膜は
剥がれず、高い
ウォータープル
ーフ性を有して
いることが確認
できた。
メイクオフ効

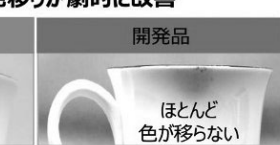
ポーラ化成
色移りせず色持ちが良く
心地よい口紅製剤を開発

ポーラ化成工業は、優れた使用感で
ありながら、リップなどに色移りせず
色持ちも良いリキッド状の口紅製剤の開発に
成功した。この成果は、ポーラ・オルビスグ
ループから発売される製品に活用される。

以前よりリップなどに
色移りしない口紅へのニ
ーズは高く、さまざまな
技術が開発されてきた
が、これまでの技術は被
膜剤で口紅の膜を固める
ものが主流で、固まるま
でに時間がかかる点や、
ゴワゴワ感・乾燥感を感じ
る点に改善の余地があ
った。

そこで今回は、心地よ
く快適に使えるよう、膜
を固めなければ色移りは
防げないという常識を捨
て、その他の手段で「色
持ち」を実現した。

そして機能性と使用感
の両立には、塗ってすぐ
に3層に分かれる製剤設
計が鍵を握るという新た
な発想に行き着き、色移
りや色持ちのメカニズム
に着目して検討を重ねた
結果、塗布前は均一なり
キッド状でありながら、
塗るとわずかな数分で表面
に透明な層、中間に色素
を多く含む層、唇側にバ
ーム状の層ができる技術
を構築し、「色移りせず
色持ちも良い」口紅を開
発することに成功した。



図・色移り比較

リップを使い唇にサンプルを塗り、5分後にコーヒークップに口を付け色移りを確認した。
従来の製品：固まらない通常タイプの口紅を用いた。

「今回の技術では『膜
を固めない』という逆転
の発想のもと『層形成を
コントロール』したこと
で課題を一挙に解決する
ことに成功した（同社）

果の検証では、従来のウ
ォータープルーフマスカ
ラとの比較を行うため、
開発品、従来品をそれぞ
れ40℃のお湯と洗顔料を
混合した液に1分浸した
後、コットンでこすった。
その結果、開発品は簡単
に落とすことができたの
に対し、従来品では化粧
膜をほぼ落とすことがで
きなかった。このことか
ら、今回の開発品はウォ
ータープルーフ効果とメ
イクオフ効果を両立でき
ていることがわかった。

続いて、新素材を配合
したマスカラの実験の力
が確認できた。

ざった状態がキープされ
るものの、塗布した後は
この成分がすぐに蒸発
し、すみやかに層状に分
離するよう設計した。さ
らに、唇の水分と融合す
ることでバーム層を形成
し、長時間密着する新た
な成分を採用した。

色移りしない機能につ
いては、透明層が色素層
を覆っているため、カッ
プなどに色素が付着しに
くいことが確認できた。

また唇に接しているバ
ーム層は唇への密着性に優
れ、色素層ともなじみが
よいため、より長く色や
ツヤがキープできるとい
い、色持ちのよさも確認
できた。

さらに、口紅の膜を固
めないうえに優れた使
用感が得られ、なめらか
さや保湿感の官能評価も
高かった。13名の化粧品
専門評価者がリキッドタ
イプの従来品と使用感を
比較評価したところ、実
際の使用において、開発
品は保湿感やなめらかさ
が高く評価された。